

群馬大学 障害学生支援室

群馬大学 障害学生支援室の紹介

障害学生支援室職員は、4名（荒牧地区3名桐生地区1名）おります。支援室はアットホームな雰囲気、聴覚障害学生やテイカーの交流の場となっています。

パソコンテイクでは原則的に IPtalk の2人連携で入力しその画面を利用学生が後ろからのぞきこむような形でテイクをおこないます。



また利用学生の希望により、無線LANを利用してタブレットに文字情報を送る形をとっています。このことで利用学生が希望する席に自由に座ることが可能です。テイカーの後方に座ることなく授業に臨めるためテイカーや周りの学生を意識しないで授業を受けられるメリットがあります。さらに無線LANを利用したPCテイクを活用することで、入学式や教育実習などの授業以外の場面でも、その場の状況に合わせたテイクが可能になっております。



タブレットパソコン

支援室ホームページ <http://www.edu.gunma-u.ac.jp/jp/shien/>

LAN端子の取り替え

大学のPCテイクではLANケーブルの差し入れが頻発するため、端子の爪が折れて使い物にならなくなってしまうことがあります。そんなとき群馬大学障害学生支援室では、端子を付け替えて再利用しています。使う道具は『かしめ工具』と、『RJ45端子』です。

まず折れてしまった部分を、圧着ペンチで切り取り①被覆を剥きます。②ケーブルを順番にそろえて③端子の長さに合わせて（14mmほどに切る）④端子に差し込みながら⑤圧着ペンチでかします。実際にパソコンを接続してみて、通信が確認できれば完成です。



爪折れ 切断 ①被覆を剥く よりを戻す

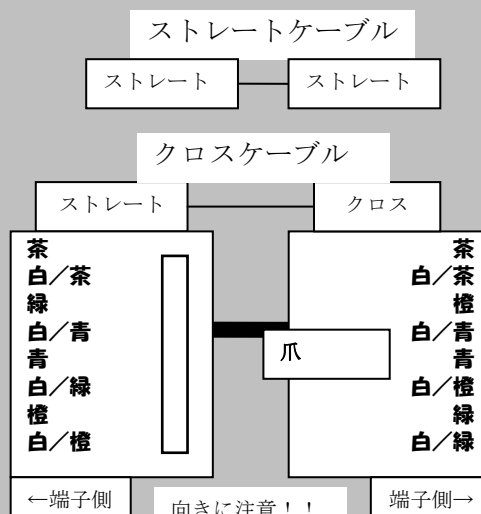


②順番に並べ ③長さを合わせ切断 ④端子を差し込む



⑤かしめる 完成後接続テスト

かしめ工具 RJ45端子



作成映像 http://eyevio.jp/channel/p_bookmark_233437

問い合わせ先

国立大学法人 群馬大学 障害学生支援室
 技術補佐員 保坂 裕里 (TEL&FAX027-220-7114) (syuwa2@edu.gunma-u.ac.jp)
 技術補佐員 新津 晶子 (TEL&FAX027-220-7114) (syuwa3@edu.gunma-u.ac.jp)